

# 文化議連

発行 福岡県文化議員連盟  
住所 福岡市博多区  
東公園7番7号

責任者 大城 節子  
福岡県議会事務局内

## 福岡県文化議員連盟 役員名簿

平成24年3月12日現在

会長

大城 節子(公明党)

副会長

浦田 憲一(自民党県議団)

副会長

野村 陽一(民主・県政県議団)

副会長

神崎 聰(緑友会)

事務局長

高橋 雅成(公明党)

幹事

吉村 悠(自民党県議団)

幹事

堤 かなめ(民主・県政県議団)

幹事

松下 正治(公明党)

幹事

吉武 邦彦(緑友会)

# 佐々木小次郎 豊前添田説

岩石城(がんじやくじょう)

「佐々木小次郎ウォーキングコース」の探訪



文化議員連盟副会長

神崎 聰



▲岩石山

日本三大修驗道の英彦山を抱える、我が故郷添田町には、歴史的ロマン・文化的遺産等、数多くの伝説や神話が宿る。私の自宅(添田町殿町)は、岩石山の麓、桜の木々が2,000本以上もある添田公園の近くにある。

その添田公園には、白山神社と添田神社が祀られていて、岩石山山頂には白山神社奥の院の石祠があり、天忍穗耳尊、白山比咩命の彦山の祭神が祭られている。ここに、戦国未を生き抜こうと、必死に修行した青年剣士がいる。佐々木小次郎である。「彦山・岩石城と佐々木小次郎(上)・(下)」著者である添田町郷土史会副会長の梶谷敏明先生にお話を伺つた。

## 1 添田説の論拠となる史料

「嚴流島の戦い」で知られる佐々木小次郎は、平成15年のNHK大河ドラマ「宮本武蔵」の放映以来、豊前添田説が浮上した。これを契機に、豊臣秀吉の九州動座の彦山・岩石城をめぐる戦いと武将について調査した。

両者とも天正14年(1586)の秀吉による障子ヶ岳・香春岳城攻め、天正15年の岩石城攻略、同16年の豊前一揆に関係の深い武将であつた。

今までの通説と言われていた、豊田景英の

二天記」や吉川英治の「宮本武蔵」とは違つて、細川藩小倉時代に、豊前・豊後・筑前で活躍していたという史料を見いだした。

特に、「沼田家記」には、厳島の決闘は

剣豪としての戦いではなく、細川藩が藩政を強固にするため、密かに仕組まれたという史実は、今までの説

を覆す論拠となつた。さらに、「岩

流兵法伝書(英彦

島)」の放映記念として、「岩石城のウォーキングコース」を設定し、修行した時代の自然・史跡を訪ねるガイドマップを作成中

である。今後、自然・史跡探訪のコースとして、標識や案内板などを充実させる。

## 3 彦山修験と佐々木小次郎

法伝授書(英彦山神宮文書)、慶安3年(1650)の宇戸信綱兵法伝授書・智恩寺系図などの発見は、小次郎の豊前添田説を浮揚させ、彦山修験道と細川藩剣術の密接な交流を知る貴重な史料と

なった。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

その後、武蔵一族は黒田藩士として、黒田の支藩である中津城・秋月城に仕えていた。

慶長7年(1602)の「黒田藩分限帳」や足跡が伺える。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

その後、武蔵一族は黒田藩士として、黒田の支藩である中津城・秋月城に仕えていた。

慶長7年(1602)の「黒田藩分限帳」や足跡が伺える。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

その後、武蔵一族は黒田藩士として、黒田の支藩である中津城・秋月城に仕えていた。

慶長7年(1602)の「黒田藩分限帳」や足跡が伺える。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

その後、武蔵一族は黒田藩士として、黒田の支藩である中津城・秋月城に仕えていた。

慶長7年(1602)の「黒田藩分限帳」や足跡が伺える。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

なった。

佐々木氏は、彦山

修験と関係深い土

神として祀つた。

佐々木氏は、彦山

修験と関係深い土

豪で、秋月・原田・

副田等の大蔵一族

として活動し、天

正16年(1588)

の豊前一揆では、

岩石城に立て籠も

り、宇都宮とともに豊臣秀吉軍に抵抗した。

岩石城は小次郎の本拠地で、副田庄はその

城下にあつた。白山宮の元宮に残る楓・高住

神社・不動明王・白山宮奥院など、小次郎

修行時代の景観が残されている。そこで、平

成5年のNHK「歴史発見」仕組まれた厳流

兵法伝書(英彦

島)」の放映記念として、「岩石城のウォーキングコース」を設定し、修行した時代の自然・史跡を訪ねるガイドマップを作成中

なった。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

その後、武蔵一族は黒田藩士として、黒田の支藩である中津城・秋月城に仕えていた。

慶長7年(1602)の「黒田藩分限帳」や足跡が伺える。

武蔵と豊前に関する新史料として、福智町金田「常立寺の棟札と墓碑」等の発見は、武藏一族が豊前障子ヶ岳・香春岳・岩石城の戦いに参加していることを裏づけている。

その後、武蔵一族は黒田